

第17回長野県カンポリー基本実施要領

(2012年祝・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟創立90周年記念)

テーマ:「Raise your patrol flag！」

～班旗を立てろ！～



大会期日:平成24年8月2日(木)～6日(月)

会場:伊那市高遠町「高遠城址公園」



日本ボーイスカウト長野県連盟

目 次

第 1章- 開催の趣旨

第 2章- 名 称

第 3章- テ ー マ

第 4章- 会 期

第 5章- 会場の地理的条件

第 6章- 参 加 者

第 7章- 加盟員の参加

第 8章- 参加に要する経費

第 9章- 参加の申込み

第10章- キャンプリー活動と日程

第11章- 会場の利用計画と参加者の生活

第12章- 輸 送

第13章- 入場・退場

第14章- 安全管理と救護衛生

第15章- 大会組織と運営

17回長野県キャンプリーに関する留意事項

付 表- 1、2、3、4 17NCサイトエリア測量図 / 会場周辺地図

別 紙- 1 17NCチャイルド・プロテクション / 参加申込書

1章. 開催の趣旨

テーマ:「 Raise your patrol flag! 」

～ 班旗を立てろ! ～

1. 第17回長野県キャンポリー開催にあたって

WOSMにより「スカウティング創立の日」を宣言されてから、2012年で106年目を迎えます。

4年の周期で開催される当県連盟のキャンポリーも、今回で17回目を迎えることになり、日本連盟創立90周年とも重なり、更なる「スカウト運動の原点」を全県下あげて見直す大会であると位置づけ、次代を担う青少年が県内のスカウト仲間との相互交流、および多彩なプログラムを通じて17NCのテーマに、「班旗を立てろ! ～Raise your patrol flag!～」を設定し、下記の目的を達成する大会とする。

2. 大会の目的

17NCの大会趣旨を踏まえ、大会の目的を次のとおりとする。

- (1) 複数の班(パトロール)を構成し、班活動にじっくり漬かり楽しむことを実践する。
- (2) 自発活動に基づくゆとりあるキャンプ生活を実践する。
- (3) エネルギー等環境を考えたキャンプ生活を展開する。
- (4) 県全体に及ぶ参加型のキャンポリーの展開を目指す。
- (5) 地区単位の奉仕機会および、VS隊スカウトの奉仕機会の展開実践の場とする。

3. かもしか賞

- (1) 大会の目的を達成するため、かもしか賞を設定する。
- (2) 参加隊スカウト全員が、かもしか賞の修得を目指す。

4. 大会のコンセプト

- (1) 23年度事業方針である「さすがスカウトだ!」と、社会から認めてもらふ領域の訓練実践場面とする。
- (2) スカウトの基本である“班活動の楽しさ”知ることを踏まえ、近年では1ヶ隊に1ヶ班に近い班構成を成す原隊の現状分析も踏まえ、17NCではテーマに基づいた「スカウト運動の原点」を見直す機会とする。
- (3) 少子高齢化する社会現象と加盟員の減少を踏まえ、地区内の相互補完、および地区内の隊指導者・団指導者の総動員を位置づけた活気ある大会としたい。

(4) 地球環境との共生を考える

- ・ニュース・新聞で情報収集し、現状での地球環境に優しい展開を期間中に実施する
- ・次世代に引き継ぐ地球環境を、考察し未来に向けた環境をイメージし事前準備する

- (5) 地域社会や関係組織・諸団体と一体になって開催する
- ・文部省委託事業を視野に入れできるだけ限り可能な範囲で地域貢献に資する実践をする。
 - ・第2号会員の制度化も考慮し、地域貢献事業に向けた「公益性」に資する実践をする。
- (6) ゆとりある大会を目ざす
- ・参加隊の「生活面」と「プログラム面」の境目に「ゆとり」を目指す。
 - ・場内外のプログラムおよび選択プログラムに「ゆとり」をもってじっくり体験してもらおうことを目指す

第 2 章. 名 称

第17回長野県キャンポリー(略称:17NC)
17th NAGANOKEN CAMPOREE

第 3 章. テ ー マ

「 Raise Your patrol flag ! 」

今大会は、2012年公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の創立90周年記念にあたる慶事もあることから、当県連盟でも「スカウト運動の原点」を見直す大きな転機にしたいと考えております。地区や団、隊を超えて組織する参加隊の構成等も視野に入て、団(隊)相互補完、相互交流を実現できることを目標に、テーマである「班旗を立てろ！」を掲げました。加盟員減少は、複数班の減少に比例し社会現象化し、本来の班活動が構築できない厳しい環境下にあります。

「スカウト運動の原点」に回帰する意味でも、今17NCでは地区内で団(隊)を越えた結びつきにテーマの本質を絞り、スカウト自身に「本来の班活動に基づくスカウティングの楽しさ」を満喫してもらいたいと期待しております。全県下を挙げた参加により、新たに発見すること、多くの気づきを通して、将来の隊編成の在り方を実践の中で、手に入れていただくことを期待したテーマとして位置づけてあります。

第 4 章. 会 期

◆第17回長野県キャンポリー(以下17NCと略す)は、平成24年8月2日(木)の開会式に始まり、8月6日(月)の閉会式をもって終了する。(4泊5日)

会場入場:8月2日(木)午前8時00分～午前11時00分までに入場し諸手続きを完了させ開会式までに設営を完了することを基本とする。

会場退場:閉会式に参加してから8月6日(月)午後4時30分までに徹営を完了させ諸手続きを完了後、退場することを基本とする。

- ◆第17回長野県キャンポリーに併設される「カブ・ビーバーデー」については、平成24年8月5日(日)の一日間を以って開催されます。
(詳細については、2012年カブ・ビーバーデー開催実施要項に依る)

◆会期中の基本日程

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間
前日	8月1日(水)	大会本部要員	大会本部要員・設営		運営会議
第1日	8月2日(木)	開会式	入場・設営	開会式	
第2日	8月3日(金)	17NC プログラム	プログラム	プログラム	交歓会
第3日	8月4日(土)	17NC プログラム	プログラム	プログラム	交歓会
第4日	8月5日(日)	17NC プログラム	プログラム	プログラム	キャンポリー大集会
		CS・BVSデー			大集会(見学可能)
第5日	8月6日(月)	環境整備・閉会式	閉会式		

※開会式は、午後 3時00分～午後 4時30分の時間帯内で実施する

※閉会式は、午前11時00分～正午12時00分の時間帯内で実施する

※プログラムは、午前・午後の区分で表記されるも個別のプログラムを意図する表記ではない。

5章. 会場の地理的条件

1. 会場

伊那市高遠町東高遠「高遠城址公園」付近一帯

2. 地勢・面積

伊那市は、日本列島のほぼ中央、長野県の南東部に位置し、南東側は山梨県と静岡県、南側は駒ヶ根市、北側は諏訪市、箕輪町などに接しており、総面積は667.81km² で、長野県の面積の約5%を占めています。本地域は東に南アルプス、西に中央アルプスを仰ぎ、豊かな緑と水にあふれ、気候は内陸型で年間の日照時間は長く、空気はよく澄み渡り、さわやかな住みよい自然環境にあります。

中央には標高約600m 前後の伊那盆地が開け、天竜川や三峰川とその支流が流れ、南アルプスと中央アルプスの山麓部に形成された複合扇状地や河川の浸食作用によって形成された段丘地形、田切地形を形成し、田園・畑作地帯が開け、伊那谷特有の美しい景観を作り出しています。また伊那盆地東部には三峰川水系県立公園を有し、豊富な動植物の分布がみられます。広大な扇状地上の標高600m～1,000mにかけての平坦部に多くの住居域が展開しており、上下の段丘面においては水田・畑地、樹園地などの多くの農用地とともに、冷涼な気候・風土、豊富な水・エネルギー資源を生かした機械・精密・電子などの先進技術産業地帯も形成されています。平成18年には伊那と木曾を結ぶ権兵衛トンネルが開通し、経済、文化、観光等新しい交流が広がっている。

- ・ 海から130kmほど隔たりがあること
- ・ 南北の方向を作る東西のアルプスと北から南へ貫流する天竜川
- ・ 東西の方向に流れる支川とその段丘・田切地形
- ・ 標高600m～1,000mの平坦部と1,000m～3,000mの山岳部の大きな高度差

5. 気候(長野県伊那市および伊那谷一帯における気候風土)

- ・ 冬期の降水日数・曇天日数が少なく、したがって降雪量も少ない。最大積雪深は「かみゆき」と呼ばれる降雪によって2月に現れる年が多い。
- ・ 気温は全般的に低めであり、冬期や日最低気温がより低めに出る傾向のため、気温の変化幅(年較差、日較差)が大きい。
- ・ 大気中の水蒸気は同緯度の他地区に比べて少なく、湿度が相対的に低く、降水量も全般的に少なめである。
- ・ 全般的に風速が小さく暴風日数も少ないが、昼夜で風向の変わる「山谷風」の影響がある。霜期間が長く、降霜日数が多く4月下旬から5月中旬の晩霜(おそじも)がよく現れる。
- ・ 夏期に雷雲の発生が多く、雷雨等短時間の強雨が多い。

第 6 章. 参 加 者

1. 参加者・奉仕者

- ・ BS参加隊(ボーイスカウト及び関係指導者)
- ・ VS奉仕隊(ベンチャースカウトおよび関係指導者)
- ・ 県連盟本部要員
- ・ 地区支援本部要員
- ・ 奉仕者(プログラム奉仕要員・地区所掌業務奉仕要員等)
- ・ カブ・ビーバーデーへのスカウトおよび関係指導者と保護者の見学を歓迎する。
- ・ 他団体の参加と奉仕を歓迎する。
- ・ 一般の青少年の体験参加を歓迎する。

2. BS参加隊およびVS奉仕隊の編成

- ・ ボーイスカウト隊は、複数班の構成による1ヶ隊30名前後の参加隊を構成する。
- ・ ベンチャースカウト隊は、1ヶ隊10名前後(指導者含む)によるVS奉仕隊を構成する。
(尚、BS参加隊・VS奉仕隊ともに、所属地区内の事情も考慮し効果的に構成すること)

3. 参加人員

大会の参加区分と人数規模は、次のとおりとする。

(2011.07.15 見込み員数)

参加の区分	内 訳	人 数	人 数
BS参加隊 (指導者含)	(1)加盟員BS隊 人× 8ヶ隊	200人	200人
	(2)関係諸団体等	30人	30人
	(3)オープン参加者(CS・BVSデー含む)	300人	300人
VS奉仕隊 (指導者含)	VS隊(3つの領域の奉仕)	40人	40人
大会本部要員	大会本部要員・運営スタッフ	30人	30人
地区支援本部	5地区支援本部×2名	10人	10人
地区業務要員	5地区の所掌業務要員	50人	50人
合 計		660人	660人

4. 加盟員以外の参加

ボーイスカウト加盟員以外の参加は、参加者の当該組織と協議のうえ、次章以降の加盟員の参加資格等に準拠して別に定める。

5. 来訪者・来賓

参加者以外に会場に訪れる見学者等の来訪者、ならびに長野県連盟が招待するご来賓等については、別に定める。

第 7章. 加盟員の参加

1. 参加資格

参加スカウトおよび指導者は、5頁の日程表に示す8月2日から8月6日までの4泊5日のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有する者の中から、各団が責任を以って選考する。

(1) ボーイスカウト(BS参加隊)

- ①ボーイスカウトで申し込み時に加盟登録員であり、保護者の参加の同意を得ている者。
また大会参加時までには2級スカウト以上、若しくは2級スカウトを目指して努力している者。
- ②上級班長については、指導力を有する1級スカウト以上の技能のある者が望ましく班長、次長として6ヶ月以上の経験を有することが望ましい。

(2) ベンチャースカウト(VS奉仕隊)

- ①ベンチャースカウトで申し込み時に登録加盟員であり、保護者の同意を得ている者。また大会参加時までにはベンチャー章(新・旧)を取得しているか、取得に向けて努力している者。

- ②大会参加時までには技能章の「野営章」を取得しているか、取得に向けて努力している者。
- ③BS参加隊指導者の指導のもと、およびVS奉仕隊指導者の支援のものに、BS参加の運営に協力しボーイスカウトのプログラム参加及び生活面での奉仕を行うことができること。
- ④地区分掌業務等で、地区内の業務奉仕を行うことができること。
- ⑤大会・運営本部業務等で、本部要員とし業務奉仕を行うことができること。

(3)参加隊の指導者

隊指導者として、規程集に定められた役務に応じて必要な資格を有するか、団がこれと同等の資質と経験を有すると認められた者。参加スカウトに女子が含まれている場合は、指導者のうち、少なくとも1人は女性とすることを推奨する。

- ①隊長 25歳以上でWB研修所のボーイスカウト課程修了者が望ましい。
(会期中の隊長の交替は、認めない)
- ②副長 20歳以上でボーイスカウト講習会を修了していること。WB研修所修了者が望ましい。(会期中の副長の交替は、認める)

(4)地区支援本部要員

- ・ 5地区から参加した参加隊を支援する要員を構成する。
- ・ 1地区当たり2～3名の要員が望ましい(本部サイトエリアにテント1展張を要する)
- ・ 地区支援本部要員の交替制を認める

(5)大会本部要員・スタッフ

- ・ ローバースカウト、団指導者、隊指導者、県連盟の役員および事務局職員、スカウトクラブ会員およびVS奉仕隊等。
- ・ 長野県連盟が要請する各分野における専門家(外部インストラクター・協力者等)

(6)バンチャースカウト奉仕隊の奉仕に係る選択肢の領域

- ・ バンチャースカウトの奉仕は、次の中から選択して奉仕の領域を設ける
 - 1ー ボーイスカウト参加隊奉仕
 - 2ー 地区分掌業務奉仕
 - 3ー 大会本部要請・地区支援本部要員としての奉仕
- ・ 但し、全ての奉仕を通じてONとOFFを設け、プログラムにも参加できる配慮を検討する。

2、参加隊の編成

(1)参加隊の編成

参加隊は、次の基準により編成する。特段の事情によりこの基準によらず隊を編成する必要がある場合は、地区を通じて長野県連盟と事前協議を行い、承認を得ること。

隊長 1人

副長 3人

上級班長(ボーイスカウト(1人)上級班長の人数は班員に含まれる。

BS隊構成 隊の構成人員は、概ね30名前後の混成を以って構成する。

班員は、概ね5～10名の混成を以って構成する。

班数は、概ね2～4ヶ班を以って構成する

(30名前後の員数には、隊長、副長を含む員数とする)

(2) 班の編成

1ヶ隊で、複数班が構成されるよう団内および地区内で効果的に班を編成する。

生活およびプログラム参加を考慮して班を編成する。

またボーイスカウトのリーダーシップを発揮させるよう効果的に班を編成する。

3. 参加日程

参加者は、日程表に示す入場日から退場日までの全日程に参加することを原則とする。

但し、参加隊の副長および、地区支援本部要員、大会本部要員については、やむを得ない事情がある場合に限り、大会中途での交替参加を認めるものとする。

第 8 章. 参加に要する経費

1. 参加者負担

(1) 参加者1人あたりの負担金は次のとおりとし、参加費は、一括納入する。

(2) 参加区分ごとに依る宿泊形態は、次のとおりとする。

参加区分	宿泊形態	参加費(負担金)
見学隊(BVS・CS・指導者・保護者)	日帰り	1,000円
BS参加隊(BSスカウト・指導者)	キャンプ	18,000円
VS奉仕隊(VSスカウト・指導者)		
大会本部要員・運営スタッフ		
地区支援本部要員・運営スタッフ		
地区分掌業務要員・運営スタッフ	キャンプ	
大会を希望する関係諸団体等	キャンプ	(別の定めに依る)
地元児童・地域諸学校等の非加盟員	日帰り	200円(保険料のみ)
ご来賓・ゲスト等	日帰り	無

- (2) 参加申込書は、平成24年 4月16日までに長野県連盟事務局へ必着とする
参加費1人当たり18,000円を一括納入として、4月30日までに所属団を通して
長野県連盟に納入する。

参加費は、他の参加者の納付金として振り替えることはできるが、払い戻しはしない。

2. 経費の内訳

参加者負担金は、大会の準備および開催に要する経費に充てる。

- (1) 開催準備費
- (2) 8月2日夕食分から8月6日昼食までの15食分料費(但し参加隊は、米持参とする)
※VS奉仕隊と大会本部要員・スタッフは、8月1日昼食分から8月6日昼食分までの17食分の主食(米含)
- (3) 配付資料、参加章、かもしか賞等の費用
- (4) プログラム費用(但し、有料プログラムは別料金とする)
- (5) 会場の設備費および運営費等の一部
- (6) 会期中の救護衛生費等の一部
- (7) 賠償責任保険、傷害保険の保険料
- (8) 事務費・印刷費・資料費等の一部およびその他
- (9) 燃料費は、経費に含まれない。(燃料はホワイトガソリン・灯油・プロパンガス、カートリッジ式ガスとし、各参加隊で装備してください。)

第9章. 参加の申し込み

1. 参加申込み(確定申込を意味する)

- (1)各団は、BS参加隊とVS奉仕隊および大会本部要員他の参加者をとりまとめ
別途に定める所定の申し込み用紙にて
平成24年 4月16日までに申し込みを完了させる。
参加費の納付は、別途に定める指定口座に平成24年4月30日までに完了させる。

- (2)長野県連盟事務局は、申込み書および参加費を受領後、参加章等その他の必要な物品、書類を各団へ送付する。

第10章. キャンポリー活動と日程

1. キャンポリー活動

第17回長野県キャンポリーは、城下町高遠の史跡『城址公園』にて活動が展開されます。田山花袋の「高遠は古き町、行き交う子らの美しき町」と詩に読まれたようにスカウト達の若さあふれる声があちこちに響き、行き交い、「スカウト環境行動」「大会テーマ」と共に、お互いの友情の輪が深く、広く展開されることを期待します。

さあ、この美しき桜の森と町並を友と肩を組んで、歴史上の人物が歩んだとされる道をスタートしましょう。

「技と友情」を育み、理想を目指してスカウト自身が築きあげて活動する県キャンポリーはもうすぐ目の前にあります。

- (1) キャンポリーは正しい野営法の基礎にたって、班ごとに自分達のキャンプサイトを作り、炊事をし、生活しながらプログラムを十分に楽しむものです。
- (2) スカウトは班ごとに選択プログラムに参加することによって、自分と自分の班の力を試すことができます。また新しい友達が得られるし、すばらしい技能と工夫なども吸収できる絶好の機会となります。
- (3) キャンポリーの行事企画は単なる催し物として行われるのではありません。スカウト一人一人は観客や見物人ではなく、そのプログラムの重要な構成員です。
- (4) 隊長はスカウト達のキャンポリーの事例研究、特に班集会、班長会議の協議と研究を正しい方法で、援助指導し、優れた班長を育ててキャンポリーでの活動と結びつけて頂きたい。
- (5) スカウティングへの熱意に加えて、長い間培われてきたスカウト精神と技能とを基盤として、キャンポリー活動の中で、隊長と隊スタッフは毎朝、隊ごとに行われる朝礼でスカウト達を観察して、健康管理とその日一日が有意義に活動でき、スカウト達がプログラムに参加できるよう隊長は協力とアドバイスをお願いしたいと思います。

※ 参加隊長はキャンポリープログラムの展開を助言するに当たり、その基本をしっかりと理解する必要があります。

● 活動を理解する……スカウト達に活動への意欲を与えられなかったら17NCに、血が通わないこととなります。事前研究、特に班長会議の援助指導によって、17NC活動と結びつけてください。

● 少年を理解する……スカウト個人をよく理解することによって楽しさが増すものです。

- (1) 話し合いや一緒に活動する機会をなるべく多くもつ。
- (2) すぐれた班長を育てる。
- (3) 日々のプログラムをよく理解させる。
- (4) 性格、特技、健康状態、スカウト歴等スカウトリストを作成する。

- 野営基準の維持と向上を指導する。
- 多くの友達と交歓する……交歓食事、相互交流訪問、参加隊ごとの隊営火など
- プログラムをよく理解する…全体行事、かもしか賞取得、休養とレクリエーション

原隊では体験できない数々の挑戦、楽しいゲームや交歓は終生の良い思い出となるでしょう。17NCを機に新しいスカウティングへの出発と活動展開の推進を期待します。

2. プログラムの区分

- ◆場内プログラム ◆場外プログラム
- ◆生活プログラム ◆かもしか賞

(1) かもしか賞のねらい

かもしか賞は、大会目的達成のための目標である。キャンポリーへの夢と期待に応え、その活動が一定の基準に達したスカウトを激励する意味で、贈られるものです。

(2) かもしか賞の設定

- ① 17NCではスカウトの意欲を高める活動を推奨するために、かもしか賞を設定する。
- ② かもしか賞は17NCにおいて班長の指導のもと、その活動が一定基準に達したとき参加隊長が認定したスカウトに野営長から授与される。
- ③ この賞は、4つの項目を取得するようになっています。参加意欲を増すよう取得し易い条件で構成していますので班のニーズによって選択し、キャンポリープログラムの流れにのってエントリーしてください。また、多くにチャレンジすることは望ましいことですが、オーバーワークにならぬよう、楽しい活動としてほしいものです。
- ④ かもしか賞取得基準は別に定める。

【 かもしか賞の修得課目 】

- <Ⅰ> 信 仰
- <Ⅱ> 奉 仕
- <Ⅲ> プログラム
- <Ⅳ> 生 活

3. 日程

プログラム実施日については、ゆとりある大会を実現するために、次の基本日課の午前・午後・夜間の活動時間内とする。

標準日程表

	基本日課		第1日	第2日	第3日	第4日	第5日		
8月1日 (水)			8月2日 (木)	8月3日 (金)	8月4日 (土)	8月5日 (日)	8月6日 (月)	8月7日 (火)	
	起床 朝食・点検・朝礼 国旗掲揚	6:00 7:00 8:30							
	午前の活動	9:00 9:30 10:00 11:00 11:30	設営 8:00～ 10:30	選択及び 自主活動 プログラム	選択及び 自主活動 プログラム	B S 隊 ・ 場 内 プ ロ グ ラ ム	開会式 カ ブ ビ ー バ ー デ イ	11:00 閉会式	
	昼食	12:00 13:00							
	午後の活動	13:30 14:00 14:30							
開場		15:00 15:30 16:00	開会式	選択及び 自主活動 プログラム	選択及び 自主活動 プログラム			撤 営	
	夕食 国旗降納	16:30 17:00 17:30 18:00 18:30							退場
		19:30 20:00	運営会議	交歓会 プログラム	交歓会 プログラム	大集会			
	就 寝	21:00							
	班長会議	21:30							
	消灯	22:00							

第11章. 会場利用計画と参加者の生活

<基本日課>

起床	06:00	夕食	18:00
朝食	07:00	国旗降納	18:30
国旗掲揚	08:30	夜間の活動	19:30~21:00
午前の活動	09:00~12:00	就寝	21:00
昼食・休憩	12:00~13:00	消灯	22:00
午後の活動	13:30~16:30		

(会場利用計画と参加者の生活について)

1. 会場利用計画の区分

- ・会場利用計画の区分は別途定める

2. 食事(配給)

- ・食事(配給)に関しては、別途定める

3. 服装および携行品

(1)服装

- 1ー開閉会式および来賓を招くセレモニーは正装で参加する。(参加章および記章類を正しく着用すること)
- 2ー参加隊サイト内および作業に従事する場合は、それにふさわしい服装とする。
- 3ープログラムに参加する時の服装は、別途定める『プログラム・ガイドブック』に依る。

(2)携行品 および野営装備

携行品および野営装備は、快適な野営生活を維持し、楽しい大会活動が展開でき、しかも環境整備に配慮することを考慮し、簡潔で精選されたものを準備してください。その標準は、次のとおりとします。

ア 標準個人携行品(参考)

- | | | |
|---------|------------|--------------|
| ○加盟員登録証 | ○懐中電灯 | ○針糸等補修用具 |
| ○ユニフォーム | ○食器一式(個人用) | ○筆記用具 |
| ○作業着 | ○運動靴 | ○交歓・営火用品 |
| ○雨具 | ○水着 | ○健康保険証(コピー可) |

- 各種着替え
- 作業用手袋
- 救急用品(持薬等)
- ロープ
- 水筒
- 主食材料
- ナイフ(旅行中は腰に下げない)
- 健康カード
- コンパス
- 洗面具

イ 標準の隊・班の携行品および装備

- テント・フライシート・グランドシート
- 配給開始前後の食料品
- 救急薬品一式
- 国旗(隊ごとに一式)
- 炊具一式
- 班旗・隊旗(隊旗は原隊のもの持参)
- 会場周辺の地図
- 灯具一式
- 工具一式
- その他、野営に必要と思われる装備
- 燃料(ホワイトガソリン・灯油・プロパンガス・カートリッジ式ガスとする)

特記：各燃料の運搬および運搬容器の基準、積載方法の基準に就いては、各関係法令に基づき、事故のないよう正しく運用してください。

※ 尚上記の個人装備、班装備、隊装備等については標準であるので詳細については、各参加隊の指導者の指示を仰いでください。

※ V S 奉仕隊については、指導者の指示を仰いでください。

第12章. 輸 送

1. 輸送計画

イ 参加隊・奉仕隊の会場到着日時・退出日時、その他の細部については、別に定める輸送計画に依ります。

ロ キャンプ装備・備品等の輸送計画についても別に定める輸送計画に依ります。

ハ 見学隊の輸送については、各見学隊で計画し実施してください。

ニ 駐車場については、別に定めます。

4. 個人の車両 別に定めます。

5. 会場内の交通制限 別に定めます。

第13章. 入場・退場

1. 参加隊・奉仕隊の集散 別に定めます

2. 大会本部要員の集散 別に定めます。

第14章. 安全管理と救護衛生

1. 安全管理

安全管理に関する事項は、別に定めます。

2. 健康管理・個人衛生

参加スカウトは、隊長の指導のもとに健康管理および安全に留意し、注意事項を厳守します。参加指導者、大会要員・スタッフは自らの健康管理と安全について留意します。

3. 救護受付所

参加者および大会要員・スタッフおよび会場内における見学隊・一般参加者等の救護に万全を期すためサイト内に救護受付所を設置するとともに、大会本部が依頼する場外の病院等の医療施設に依頼します。

第15章. 大会組織と運営

1. 準備・運営の方針

大会準備は、大会実行委員会を組織してその準備にあたり、大会期間にあっては別に定める大会運営組織の系統により運営します。

2. 運営の組織

別に定める大会組織図により大会運営を担います。

3. 各地区支援本部の組織と役割

別に定める組織図により業務内容の役割を担います。

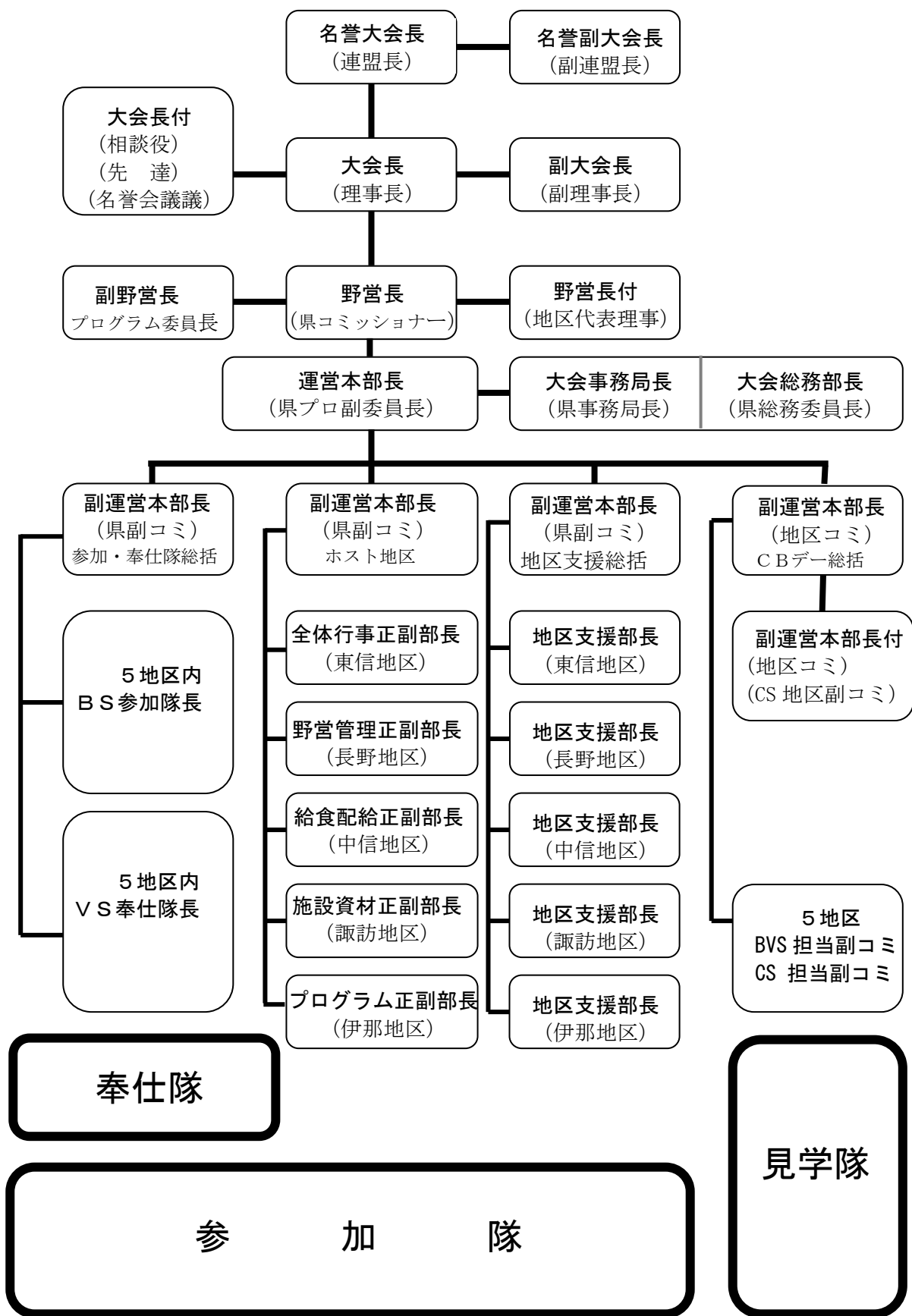
4. 各部の所掌業務

部 署	所掌業務
大会本部	大会運営業務の総括・リスク管理・危機管理の総括 救護受付・救急救護に係る一切の業務
地区支援本部	東信地区支援本部（参加隊・奉仕隊・CBデー等の支援業務） 長野地区支援本部（参加隊・奉仕隊・CBデー等の支援業務） 中信地区支援本部（参加隊・奉仕隊・CBデー等の支援業務） 諏訪地区支援本部（参加隊・奉仕隊・CBデー等の支援業務） 伊那地区支援本部（参加隊・奉仕隊・CBデー等の支援業務）
大会事務局 総務部	大会事務に係る一切の業務 大会総務に係る一切の業務
全体行事部 （東信地区）	開閉会式含む全体行事に係る一切の準備手配と業務執行
野営管理部 （長野地区）	野営管理に係る一切の準備手配と業務執行
給食配給部 （中信地区）	給食・配給に係る一切の準備手配と業務執行
施設資材部 （諏訪地区）	施設資材に係る一切の準備手配と業務執行
プログラム部 （伊那地区）	プログラムに係る一切の準備手配と業務執行
VS奉仕隊 （VSスカウト・VS指導者）	参加隊への奉仕 ・BS隊 ・CSBVSデー 各地区分掌業務の奉仕 ・地区担当業務 ・地区支援本部業務 本部業務への奉仕 ・本部から要請する奉仕業務の特定 ・VSからのニーズに基づく奉仕業務の特定

大会本部組織図

次に定める大会組織図に依ります。

17NC大会組織図 (付表)



17回長野県キャンプリーに関する注意事項

第17回長野県キャンプリーに関する注意事項

(1) チャイルド・プロテクションについて(別紙-1のとおり)

(2) 会場への酒類と喫煙について

酒類に関する一切の持ち込みの禁止および会期中における飲酒行為の禁止。

スカウトと行動を共にする時の喫煙行為の禁止。

喫煙は、サイト内で定められた場所を別途指示する場所に特定する。

(7) 事前視察

BS参加隊指導者およびVS奉仕隊指導者および大会運営要員等が大会前に現地に下見踏査する場合は、別に定める指定する期間とする。

(8) 商品販売

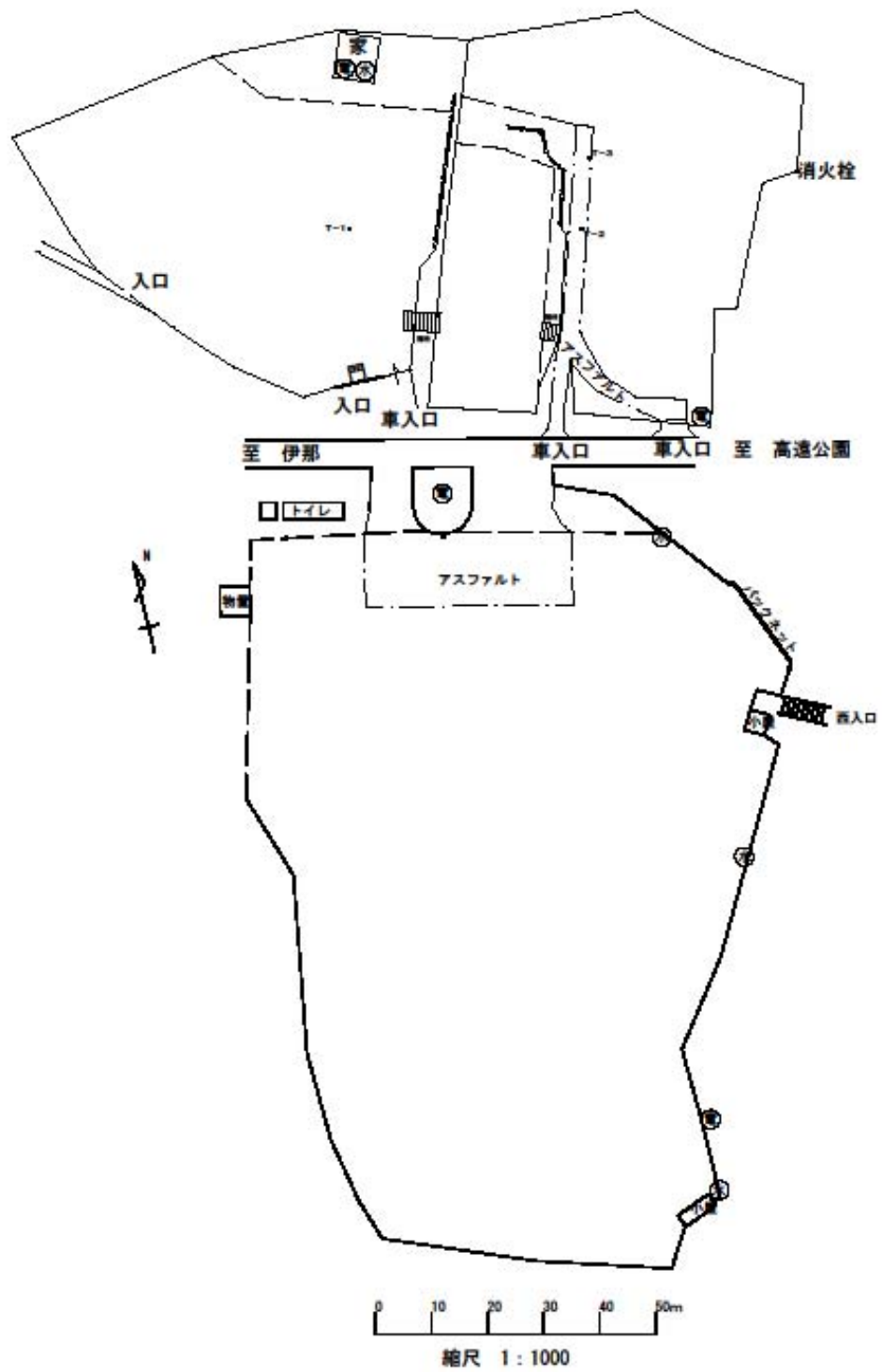
大会期間中の商品販売に関しては、別に定めます。

(9) 都市公園法に基づく会場の管理と運用

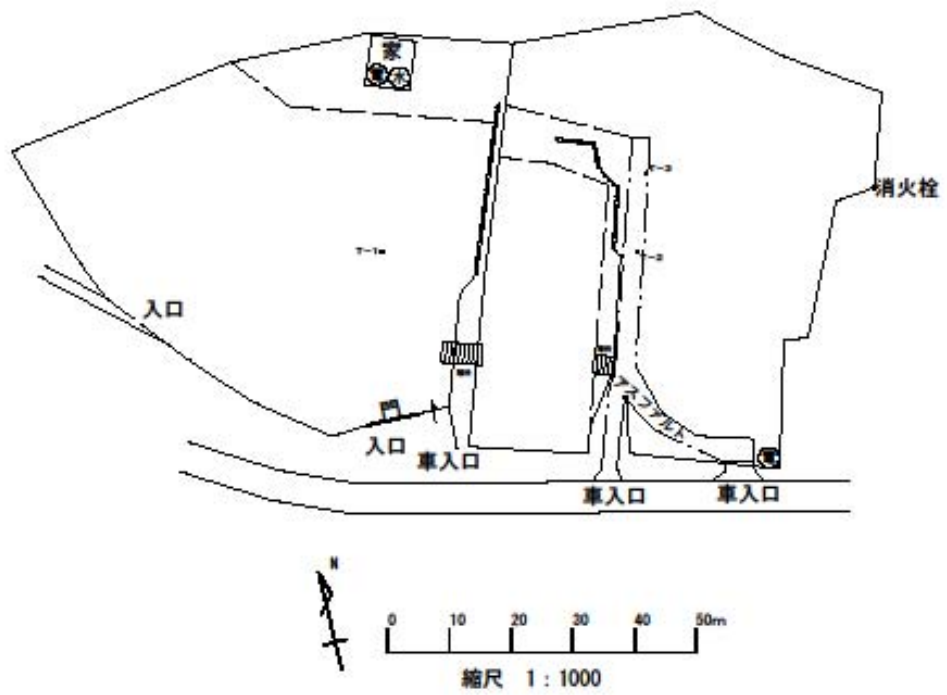
17NC会場は、都市公園法に基づく法令のもとで使用が許可されております。

就きましては、今後の関係省庁、行政機関のご指導等により、大会基本実施要領の一部が変更される場合もありますので、ご了解ください。

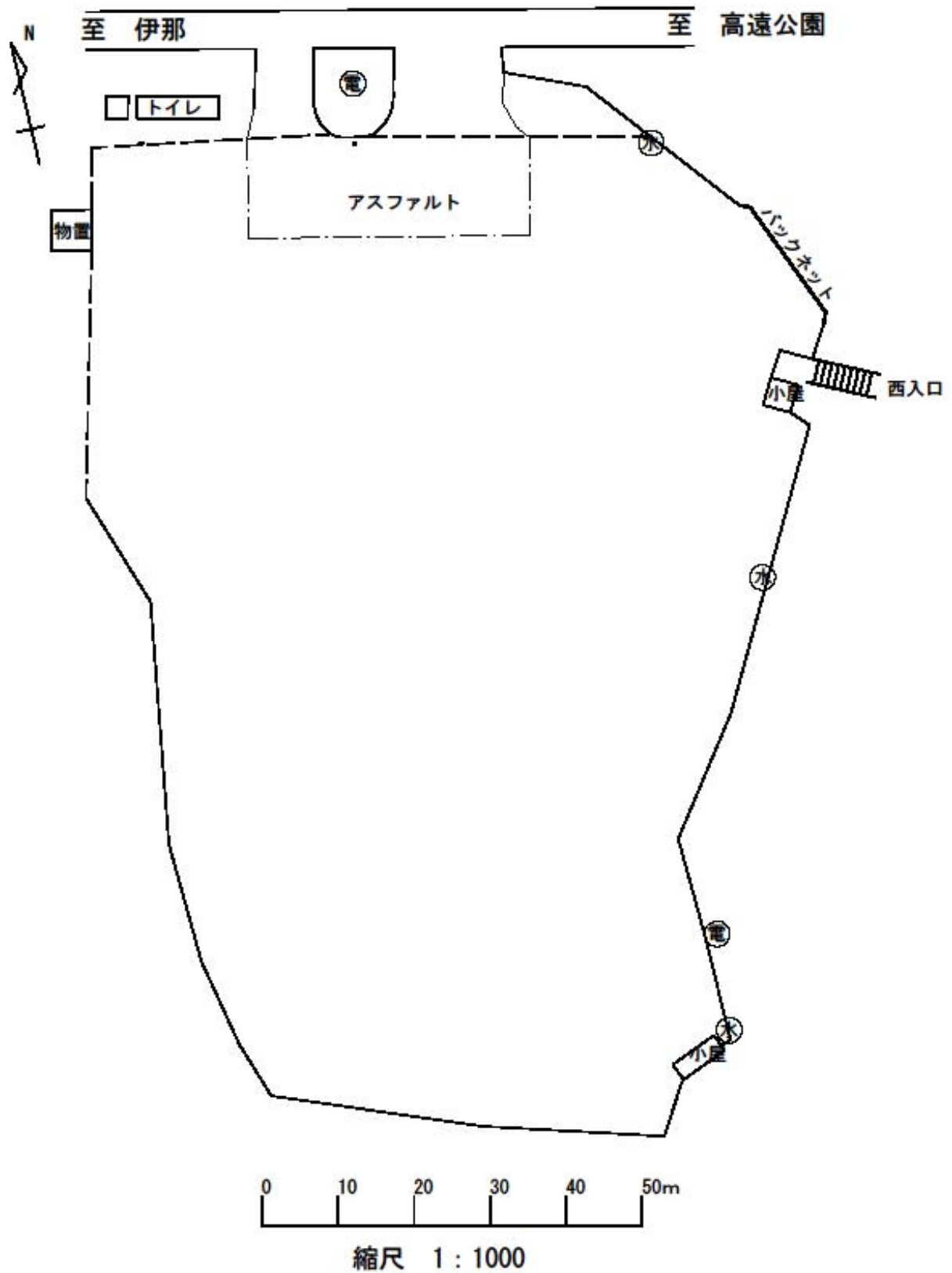
付表-1 第17回長野県キャンプリー サイト測量図



付表-2 第17回長野県キャンポリー サイト測量図



付表-3 第17回長野県キャンポリー サイト測量図



付表-4 第17回長野県キャンポリー 会場周辺図



別紙—1

17NC〈チャイルドプロテクションへの取り組み〉

1. 民族、人種、皮膚の色、言語、宗教、意見、性別、社会的出自、能力の違い、知的・身体的障がいの有無に関わらず、全てのスカウトおよび青少年のかけがえのない存在としての価値を尊重する。
2. スカウトがその成長段階に応じて意思決定のプロセスに関与する権利の保証に責任を持ち、彼らが自らの成長に寄与できることを認め、支援する。
3. 本運動への成人指導者の登用に際して、チャイルドプロテクションを適用する。
4. スカウトに関わらず、指導者などの関係者による相互のいかなるハラスメントも行わない。

〈行動規範として〉

1. 私たちは、スカウトにとって安全で安心できる環境を作り、あらゆる形の虐待や差別から青少年を守ります。
2. 私たちは、チャイルドプロテクションを理解し同意し、チャイルドプロテクションに取り組みます。

〈 参 考 〉

〈虐待の種類〉の例〉

- 身体的暴力、心理的暴力、性的暴力、ネグレクト(養育放棄・無視)、搾取

〈国や地域の違いによって虐待と見なされる恐れのある行動の例〉

- 日本では通常の行為として何気なく行なっていることでも、見方によれば虐待と疑われることがあります。日本の文化といえるような言動でも、国際的には虐待と捉えられてしまうこともあるので見識を高めると共に注意が必要です。
- ・ スカウトをひざの上に乗せて身体をさわる。
- ・ ほめるつもりで頭をなでる。
- ・ 指導しようと大声で叱る
- ・ 体罰を与える。
- ・ スカウトの感情や自尊心を傷つける行為や発言や振る舞いを行なう。
- ・ 厳寒の中、半袖や半ズボンなど肌を出した姿のまま、戸外で活動することを強制する。
- ・ 宿泊を伴う活動で、男子スカウトと女子スカウトを同室(同テント)にする。
- ・ 保護者の了解を得ないで、スカウトと指導者が同じ部屋やテントに宿泊する。
- ・ 保護者の了解を得ないでスカウトと指導者が一対一で閉ざされた部屋やテントで活動する。
- ・ 病気やけがの処置をせずに放置する。
- ・ 保護者の了解を得ないで投薬や処置を行なう(緊急時を除く)。
- ・ スカウトの近くで喫煙や飲酒をする。

年 月 日

第17回長野県キャンポリー 参加申込書

参加隊 スカウト・指導者用

申し込み承認 参加者本人→隊長→団委員長→地区支援部長→県連盟

本人	所属	県連盟	地区	団	隊	
	ふりがな				性別	男・女
	氏名					
	生年月日	年	月	日	(満才)	
	部門	ボーイスカウト		成人指導者		
	住所	〒				
	電話		携帯電話			
	E-Mail		携帯Mail			
	緊急連絡先	〒	電話			
	進級章	初級	2級	1級	菊	
保護者	ふりがな					
	氏名					
	住所	〒				
	電話					
隊長	日付	年	月	日		
	所属隊長	氏名	サイン			
団	日付	年	月	日		
	団委員長	氏名	サイン			
地区	日付	年	月	日		
	地区支援部長	氏名	サイン			
県連	日付	年	月	日		
	大会事務局	氏名	サイン			

- * 2012年4月16日までに県連盟事務局へ提出ください。
- * 申し込み時、20歳未満の参加者は保護者の承認が必要です。
- * 年齢に関係なく緊急連絡先は記入してください。
- * 2012年4月30日までに参加費18,000円を団でまとめて事務局の指定する口座へお支払いください

年 月 日

第17回長野県キャンポリー 参加申込書

ガールスカウト・ベンチャースカウト・大会スタッフ 用

申し込み承認 参加者本人→隊長→団委員長→地区支援部長→県連盟
(大会スタッフは隊長承認不要)

本人	所属	県連盟	地区	団	隊	
	ふりがな				性別	男・女
	氏名					
	生年月日	年	月	日	(満才)	
	部門	ガールスカウトベンチャースカウト			成人指導者	
	住所	〒				
	電話		携帯電話			
	E-Mail		携帯Mail			
	緊急連絡先	〒	電話			
	奉仕部門○印記入	VS奉仕の選択(大会要領8頁(6)参照)			1	2 3
保護者	ふりがな					
	氏名					
	住所	〒				
	電話					
隊長	日付	年	月	日		
	所属隊長	氏名	サイン			
団	日付	年	月	日		
	団委員長	氏名	サイン			
地区	日付	年	月	日		
	地区支援部長	氏名	サイン			
県連	日付	年	月	日		
	大会事務局	氏名	サイン			

- * 2012年4月16日までに県連盟事務局へ提出ください。
- * 申し込み時、20歳未満の参加者は保護者の承認が必要です。
- * 年齢に関係なく緊急連絡先は記入してください。
- * 2012年4月30日までに参加費18,000円を団でまとめて事務局の指定する口座へお支払いください。

長野県キャンプリーの軌跡

◆開催年月	◆開催回数	◆開催市町村 (場 所)
昭和25年5月	第1回長野スカウト大会	長野市 (城山公園)
昭和26年9月	第2回スカウト大会	上田市 (上田公園)
昭和32年10月	第3回スカウト大会	松本市 (松本城広場)
昭和34年5月	第4回スカウト大会	小諸市 (懐古園)
昭和36年8月	第5回県キャンプリー	長野市 (城山公園)
昭和38年8月	第6回県キャンプリー	軽井沢町 (レイク・ニュータウン)
昭和40年8月	第7回県キャンプリー	佐久市 (農林省種蓄牧場)-
昭和42年8月	第8回県キャンプリー	岡谷市、 (ヤシカ広場)
昭和52年8月	第9回県キャンプリー	富士見町 ‘ (富士見高原)
昭和59年8月	第10回県キャンプリー	犬町市 (大町スキー場)
昭和63年7月	第11回県キャンプリー	戸隠村 (越水ヶ原)
平成4年8月	第12回県キャンプリー	平谷村 (平谷スキー場)
平成9年8月	第13回県キャンプリー	白馬村 (五竜とおみ飯森ゲレンデ)
平成13年8月	第14回県キャンプリー	長門町 (エコーバレースキー場)
平成17年8月	第15回県キャンプリー	石川県珠測市 (りふれっしゅ鉢ヶ崎)
平成21年8月	第16回県キャンプリー	長野市戸隠 (越水ヶ原)
○平成24年8月	第17回県キャンプリー	伊那市高遠町 (高遠城址公園)



平成24年1月発行(配布専用)

日本ボーイスカウト長野県連盟

〒390-0851

松本市島内8880番地

(スカウト会館内)

電話 0263-34-1300 FAX 0263-32-7743